

採用試験案内

▶ 2025 年度試験日程

区分・職種		試験案内 HP掲載	申込受付	第1次試験	第2次試験	最終 合格発表	
大学卒業 程度試験	早期 日程	事務 (知事部局等B)	3月3日	3月3日 ～3月24日	4月2日～4月16日 基礎能力検査	5月中旬～下旬 論文試験、 口述試験、適性検査	6月上旬
		事務 (警察本部B)	教養試験・専門試験がなく、基礎能力検査(SPI3)で受験可能。6月上旬に最終合格発表				
	技術系11職種 〔電気、機械、土木A、 建築、化学、薬剤師、 農業、農薬土木、 畜産、林業、水産〕	3月3日	3月3日 ～3月24日	4月2日～4月16日 基礎能力検査	5月中旬～6月上旬 口述試験、適性検査 6月15日 専門試験、論文試験	6月下旬	
		教養試験がなく、基礎能力検査(SPI3)で受験可能。6月下旬に最終合格発表					
	従来 日程	事務(知事部局等A)、 事務(警察本部A)、 管理栄養士、 福祉、心理	4月23日	4月23日 ～5月14日	6月15日 教養試験、専門試験、 論文試験(第2次試験として実施)	7月上旬～8月上旬 口述試験、適性検査	8月中旬
		従来どおりの試験日程・試験科目					
秋冬 期日程	土木B	10月29日	10月29日 ～11月18日	11月30日 基礎能力検査、 論文試験	1月上旬～下旬 口述試験、適性検査	1月下旬	
		教養試験・専門試験がなく、大学3年生の受験も可能					
高校卒業 程度試験	事務(知事部局等) 事務(警察本部) 小中学校事務	4月23日	7月1日 ～8月20日	9月28日 教養試験、 作文試験(第2次試験として実施)	10月中旬～下旬 口述試験、適性検査	11月中旬	
	従来どおりの試験日程・試験科目						
	技術系職種	4月23日	7月1日 ～8月20日	9月28日 教養試験、専門試験、作文試験 9月下旬～10月上旬 口述試験、適性検査		10月上旬	
事務職より最終合格発表が1か月前倒し							

※パンフレット作成時点での予定であり、募集を行わない場合又は追加される場合があります。

※受験資格、募集の有無、採用予定数等は、採用試験実施計画及び各試験案内をご確認ください。

※「事務(知事部局等A)」と「事務(知事部局等B)」との併願及び「事務(警察本部A)」と「事務(警察本部B)」との併願はできません。

※上記試験のほか、社会人経験者採用選考、獣医師採用選考、障害者を対象とした採用選考などを実施しています。各選考の詳細が決まり次第、人事委員会事務局ホームページでお知らせします。



茨城県人事委員会事務局
ホームページ
「茨城県職員採用案内」

採用試験実施計画、試験案内、採用試験Q & Aのほか、職種ごとの先輩メッセージや業務ガイダンス動画、女性職員活躍事例、男性職員育児体験記なども掲載しています。

茨城県人事委員会事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978番6
Tel.029-301-5549 Fax.029-301-5559
Eメール▶ saiyoushiken@pref.ibaraki.lg.jp



茨城県

Create the future of IBARAKI
茨城県
職員採用案内
2025

無限の可能性は
選んだ道の先にある

加速度的に進む人口減少をはじめ、物価高騰・頻発化・激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く社会情勢は急激に変化しており、乗り越えなければならない課題も山積しています。

こうした時代の荒波を乗り越えていくためには、今何が求められているのかを自ら考え、困難な課題にも躊躇することなく挑戦することが極めて重要です。

本県が輝かしい未来を掴み取るためには、前例にとらわれず、新たな発想で積極果敢に挑戦することができる皆さんの力が必要です。

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、「新しい茨城」づくりに共に挑戦していきましょう。



茨城県知事
大井川 和彦



第2次茨城県総合計画

「新しい茨城」への挑戦 Challenge

基本理念

「活力があり、県民が日本一幸せな県」
の実現に向け、
4つの「チャレンジ」を推進します。

チャレンジⅠ 新しい豊かさ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、
新しい豊かさを目指します。

チャレンジⅡ 新しい安心安全

医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。

チャレンジⅢ 新しい人財育成

茨城の未来をつくる「人財」を育て、
日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

チャレンジⅣ 新しい夢・希望

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、県内外から選ばれる、
魅力ある茨城（IBARAKI）づくりを推進します。

「挑戦する県庁」への変革

県民本位

「県民のためになっているか」を
常に考え、政策を実行

積極果敢

横並び意識を打破し、
失敗を恐れず積極果敢に挑戦

選択と集中

目的を見据えて選択と
集中を徹底し、経営資源を
最大限効果的に活用

職 種 紹 介

職種ごとの業務内容や勤務箇所、先輩メッセージは
二次元コードからチェック！

check

事務(知事部局等)



予算の編成・執行、施策の企画・推進、条例・規則の制定、申請に対する許可可や、税の徴収、用地買収の交渉、外部機関との調整など、県行政のあらゆる分野で幅広く様々な仕事に携わります。



土木



広大に変化に富む県土の社会基盤である、道路、河川、ダム、港湾、公園、上・下水道などの整備・管理、さらには将来のまちづくりや建設産業の振興のため、事業の企画立案、工事の設計・積算・監督を行います。



建築



建築確認や開発許可の審査、建築物の耐震性向上など、安心安全なまちづくりのため、建築物や土地利用の指導などを行います。
また、県営住宅、県有施設の工事計画・積算・監督を行います。



事務(警察本部)



予算の編成・執行、施策の企画・推進、条例・規則の制定、警察専用システムの開発、運転免許に関する業務や鑑識業務など幅広く様々な仕事に携わります。



電気



水道施設や下水道施設、庁舎など県有施設に係る電気設備の保守管理、工事の設計・発注・施工監理などを行います。また、県内産業の技術革新を目的とした先導的研究や県内企業の課題を解決する共同研究を行います。



化学



大気汚染の防止、湖沼・河川の水質保全、騒音や放射能など広く環境問題に対応するための調査研究、監視観測を行うほか、県内企業を支援するための研究開発を行います。



小中学校事務



市町村立学校に勤務します。身分は市町村職員となり、県職員との人事交流はありません。予算の執行、文書管理、職員の給与・福利厚生事務、施設・備品の管理など、校務運営に関する様々な業務を行います。
※高校卒業程度試験のみ実施しています。



機械



水道施設や下水道施設、庁舎など県有施設に係る機械設備の保守管理、工事の設計・発注・施工監理などを行います。また、県内産業の技術革新を目的とした先導的研究や県内企業の課題を解決する共同研究を行います。



薬剤師



医薬品医療機器等法や食品衛生法等に基づく許可可、監視指導及び検査などを行います。また、薬の専門家として、県立病院で調剤・服薬指導、病棟業務などを行います。



農業



農家の所得向上に資する農業政策の企画立案、産地振興、農地の集積・集約化、スマート農業や有機農業の推進、6次産業化及び輸出・販路拡大、試験研究や普及・指導など、様々な仕事に幅広く携わります。



獣医師



公衆衛生分野では、食品衛生に関する監視・指導、食肉検査のほか動物の愛護管理に関する相談などを行います。また、畜産分野では、家畜の伝染病対策・衛生指導、育種改良や飼育技術の研究を行います。



福祉



児童相談所等において、児童及びその家庭の福祉に関する相談対応や、児童の一時保護・生活指導などを行うほか、福祉相談センター等において、生活困窮者への支援などを行います。



農業土木



水田や畑の基盤づくりや、老朽化した農業水利施設の計画的な補修・更新等を行うため、農業農村整備事業の調査や計画策定、工事の設計・監督を行います。



畜産



畜産物の生産振興やブランド力強化のため、各種施策を立案・推進するとともに、生産技術の向上や経営改善のため、農家の指導等を行います。また、家畜の育種改良や飼育技術の研究を行います。



心理



児童相談所や福祉相談センター等において、児童や、知的・精神障害等の心理判定を行うほか、その相談・指導などを行います。



林業



林業の成長産業化と森林が持つ公益的機能の持続的発揮に向けて、林業経営の自立化、県産木材の利用促進と機能豊かな森林づくりを推進します。また、森林・林業に関する試験研究や普及・指導などを行います。



水産



漁業・養殖業・水産加工業の振興対策、漁港や増殖場の整備などを行います。また、漁業や養殖業、水産加工業に関する試験研究や普及・指導などを行います。



管理栄養士



健康増進法等に基づき、県民の健康づくりや食生活の改善に向けた取組の推進、市町村への技術支援及び給食施設指導等を行うほか、県立病院や福祉施設では、対象者に合わせた栄養管理、給食管理を行います。





茨城県職員を希望している方へ

県職員の仕事は幅広く、常に勉強が必要ですが、様々な経験を通して自身の成長を感じられると思います。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

Message

営業戦略部 プロモーションチーム 大江主任

【2015年度事務職採用】

経歴

農業政策課【2015-2016】▶常陸太田県税事務所【2017-2019】
▶グローバルビジネス支援チーム【2020(前期)】▶国際観光課【2020(後期)-2021】
▶民間企業(派遣)【2022-2023】▶プロモーションチーム【2024-】

様々な経験を通して自分自身の成長を感じられます

茨城県を志望した理由・動機は

幅広い分野の仕事に従事できる点に魅力を感じました。元々県内出身で、愛着のある地元で働きたいという思いがありました。県では、産業振興から教育・福祉まで、幅広い仕事に携わることができると知り、志望しました。

現在の仕事内容は

プロモーションチームで、メディア向けのPRを担当しています。茨城県のおいしい食材や特色ある観光コンテンツを、TVを始めとするメディアに取り上げていただけるよう働きかけ、茨城県の魅力を広く全国に発信できるよう取り組んでいます。「最近よくテレビで茨城の特集を見るよ」という声を聞いたときなど、「茨城県の魅力発信」という大きな目標に貢献できたと感じます。

仕事をする上で大切にしていることは

周囲との連携・協力・調整を大切にしています。県の業務は、県庁の各課や市町村、民間の事業者等と連携した取組が不可欠です。相手の立場や状況を理解するよう努めながら、業務を一緒に進めることで、自分自身の視野や知見が広がり、そこで得られた成長をまた次の職場で活かせると考えています。

仕事のリアルが伝わる動画を要チェック!!▶



産業戦略部 産業政策課 松本主任

港湾課【2013-2014】▶事業推進課(現:立地整備課)【2015-2017】

▶土浦県税事務所【2018-19】▶障害福祉課【2020-2021】

▶経済産業省中小企業庁(派遣)【2022-2023】▶産業政策課【2024-】

経歴

茨城県職員を希望している方へ

ライフステージに応じた柔軟な働き方を選択できることや、自分次第で多様な経験を積めることは、県職員の大きな魅力だと思います。私たちと一緒に働きましょう。

Message

ライフステージに合わせた柔軟な働き方ができます

茨城県を志望した理由・動機は

都内の大学に進学していましたが、卒業後は茨城県に戻り働きたいと考えていました。就職先について調べていく中で、幅広い業務に携わることができ、様々な視点から地元へ貢献できる仕事であることに魅力を感じ、県を志望しました。

現在の仕事内容は

経済産業省中小企業庁に出身した経験を活かし、中小企業向けの融資制度の担当をしています。県では、中小企業に向けて低利の融資メニューを用意していますが、経済情勢に応じた新たな融資メニューの創設や、資金需要への対応など行っています。実際に融資を活用した中小企業を訪問し、経営者の方から事業展開に関する前向きな声を聞くことができた時など、自分の業務の役割を改めて認識し、やりがいを感じます。

ワークライフバランスは

テレワークと時差出勤を活用しています。私は4歳と2歳の子供がおりますが、保育園の送迎の関係で、週に1回以上在宅勤務をしているほか、時差出勤で遅出を選択しています。子育てと仕事の両立の点では働きやすい環境が整っていると感じています。



先輩×後輩 対談インタビュー

先輩に気軽に質問や相談ができる環境があります



土木部港湾課 鈴木技師

【2024年度土木職採用】

土木部港湾課 堀越係長

【2011年度土木職採用】

現在の仕事内容は

堀越▶港湾の整備や維持管理に関する予算の編成や執行管理等を担当しています。港湾は国民生活と産業活動を支える重要な物流拠点ですので、老朽化対策を計画的に実施し、その機能を維持できるように、国をはじめ関係機関と予算面での調整を行っています。

鈴木▶港湾施設や港湾海岸施設の建設・維持管理に関する調査への回答や、予算の執行管理等を担当しています。現場では、写真や書類では感じることのできない規模の大きさに驚くこともあります。

先輩のサポートや職場の雰囲気は

鈴木▶職場の雰囲気は明るく、分からないことを質問しても優しく教えてくださるので、安心して仕事を進めることができています。アドバイスをいただきながら業務を進めていける環境があり、少しずつ自信を持てるようになっていきます。

新規採用職員の指導者として心がけていることは

堀越▶気軽に相談できる関係性が大切だと思います。雑談を含め、普段からコミュニケーションを多くとることを心がけています。また、仕事に悩んでいないか、日頃から目配りをしています。机上だけではイメージが沸きにくいと思うので、現場へ行く機会も設けるようにしています。

大変だったことや、入庁前のイメージとギャップを感じたことは

鈴木▶港湾に関しては、大学時代に学ぶことが少なかったため、新しく覚えることが多く、戸惑った部分もありましたが、皆さんが一から教えてくださり、安心して業務に取り組みました。また、様々な業務を経験する中で、例えば建設物の構造等を理解するためには大学時代に学んだ専門科目の知識も必要であると再認識するなど、日々学ぶことが大切であると感じています。

土木職の魅力は

堀越▶担当した仕事を実際に目に見える形で出来上がっていくことや、県民の皆さんに喜んでもらえる点に魅力を感じます。
鈴木▶日々の生活に欠かせない重要なインフラの整備に携わる仕事であり、地域の発展や住民の生活の支えになっているところにやりがいを感じることができます。

お互いに一言

堀越▶明るく元気に、何事にも積極的に取り組んでくれています。知識や技術を幅広く習得し、ドボジョ(土木女子)として、今後大いに活躍されることを期待しています。
鈴木▶土木のことに関してはもちろん、おいしいお店情報などにも詳しく、私だけでなく課のみんなから頼りにされています。今後ともご指導よろしくをお願いします。



育児休業取得率

男女とも100%を目標(2025年度)とし、組織として育児休業取得を応援しています。育休は、お子さんが3歳になるまで取得でき、育休に伴う収入減少についても、原則1歳になるまでは地方職員共済組合から手当金が支給されますので、生活面での不安も軽減されます。

男性 **98.4%** 女性 **100%**
2023年度実績



1



8つの理由

詳しくは
コチラ



2 仕事と子育てを両立できる環境

充実した子育て支援制度

配偶者出産休暇

育児参加休暇

育児部分休業

育児時間休暇

育児短時間勤務

家族看護休暇

男性職員は育児に係る特別休暇の拡充により、40日間を有給休暇でカバー

県庁内保育所を設置

県庁の敷地内に認可外保育施設「ひより保育園」を設置して、職員の仕事と子育ての両立を後押ししています。



女性職員の積極的な登用を推進

女性が活躍するための土台となる県庁の職場文化の改革が進んでいます。

課長級以上の職員に占める女性の割合

6.9% → **16.9%**
2017年4月 2024年4月



3

茨城県が働きやすい

4 充実したテレワーク環境で場所にとらわれずに働ける仕組み

職場内の情報共有を円滑にするオンラインツールや、自分の携帯端末からメールチェックができるBYOD(Bring Your Own Device)も導入しています。



在宅勤務

自宅から職場PCをリモート操作

サテライトオフィス

県内5か所(県庁、合同庁舎4所)のサテライトオフィスで勤務

モバイルワーク

出張中などに薄型PCやタブレットを操作

6 本人の個性と能力を踏まえた適材適所の人員配置

年齢、性別、事務職/技術職の別、採用試験区分などによる固定的な人事ではなく、本人の適性や能力、実績などを評価し、その職員が能力を十分に発揮できるような適材適所の人員配置を進めています。

▶若年層の管理職への積極登用

▶これまで事務職が担っていたポストへの技術職の登用

7 意欲のある職員を希望課所に配置する公募制度

通常の勤務希望調査のほか、職員が意欲とやりがいを持って仕事に向き合えるよう、希望業務を直接申し出ることができる公募制度を用意しています。

業務提示型公募

新規プロジェクト・イベント等新たな発想や専門能力が求められる業務をあらかじめ提示し、応募職員のうち適任者が配置されます。

職員提案型公募

職員が自ら取り組みたい課題や業務を提案し、優れたものと認められれば、業務所管組織に配置されます。

8 RPAやAIの積極的な活用

導入例

▶RPAを活用した支出手続の自動化により、膨大な書類を迅速かつ正確に処理。

定型的な業務などはRPAやAIで代替し、職員が真にクリエイティブな仕事に注力できる環境づくりを進めています。

▶AI音声認識による議事録作成サービスを導入することで、会議等の議事録作成に係る労力を大幅に削減。



給与

新規採用職員の給与例(2025年4月1日現在)

区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	大学卒	239,136円
高校卒業程度	高校卒	206,170円

▶採用前に職歴がある場合は、この金額に一定額が加算されます。

▶このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当等が支給されます。

▶期末・勤勉手当(ボーナス)は年2回(6月、12月)支給されます。

▶地域手当(6%で積算)を含んだ額です。

休暇

▶年次休暇:1年につき20日(2023年の平均取得日数は13日)

▶このほか、夏季休暇(5日)、育児休業、特別休暇(結婚・婚引・介護等)等があります。

研修制度

新規採用職員研修

公務員としての心構えや職務上必要となる基礎知識を修得するため、県の組織と仕事、文書実務、接遇、地方自治制度等の研修を行います。同期や先輩職員と語り合う機会も設け、職員同士の交流を深めます。

一般研修

職務遂行上必要とされる知識・技能を修得するための研修

特別研修

職員自らが選択し、主体的に能力開発に取り組むための研修

派遣研修

県の外部で業務を経験し、幅広い視野や高度な専門知識等を得るための研修

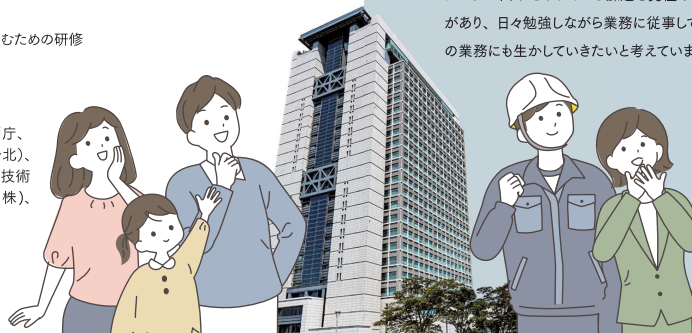
2024年度
主な派遣先

国・企業等

内閣府、総務省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、原子力規制庁、日本貿易振興機構(ニューヨーク、サンフランシスコ)、日本台湾交流協会(台北)、常陽銀行シンガポール・ハノイ駐在員事務所、国立感染症研究所、国士技術政策研究所、(株)JT B、イオンリテール(株)、カルビー(株)、ウォーターセル(株)、(株)みらい創造機構

大学等

政策研究大学院大学



派遣先レポート

宇宙産業の構造変革に向けた課題の解決

現在、人類の活動領域が本格的に宇宙空間に拡大しつつあり、世界的にも宇宙活動が活発化しています。日本においても人工衛星等の宇宙機器産業の国際競争力の強化や衛星通信等の宇宙ソリューション産業の振興に向けた取り組みが行われており、茨城県でも、宇宙ベンチャーの創出・誘致や県内企業の宇宙ビジネスへの新規参入の推進をしています。そうした中で、私は派遣先の経済産業省において、人工衛星周りの宇宙機器産業の支援を担当しています。宇宙機器産業が発展していくためには、業界へのヒアリング等を行いながら、真にボトルネックとなっている課題を見極め、課題に対する効果的な支援策をさまざまな観点から検討していく必要があり、日々勉強しながら業務に従事しています。国の政策の考え方など、派遣期間中に吸収したことを本県での業務にも生かしていきたいと考えています。



経済産業省製造産業局
宇宙産業課

中谷 主任(2016年度採用)

◀2024国際航空宇宙展の様子